

京都デザイン賞 2022

# 入賞・入選作品



【協力：文化庁 地域文化創生本部】

公益社団法人 京都デザイン協会



## ごあいさつ

京都デザイン協会は、第一線で活躍するデザイナー及びデザイン関係者を結集し、デザインを通じて京都の地域産業振興と、豊かな生活環境の形成に寄与することを目的として、1967年5月に京都デザイン協議会として発足、1979年に京都デザイン協会と改名、1981年に社団法人京都デザイン協会に移行し、2013年6月には公益社団法人京都デザイン協会の認可を受け活動を継続しています。

「京都デザイン賞」の入選作品は、2009年度の第1回以来、京都の伝統と文化を守りながら、新たなデザイン手法を用いて、新しい京都のデザイン創出を図る作品を発見、顕彰、そしてその良さを広報し、流通に載せる一助を担うことを目的として公募し、応募された作品の中から、審査により厳選された作品です。

第14回の今回は71点の応募作品から、28点の入選作品を選出、その中から京都デザイン賞 大賞、京都府知事賞、京都市長賞、京都商工会議所会頭賞、京都新聞賞、課題部門4課題への各賞、学生賞(画箋堂賞)をそれぞれ1点ずつ選出させていただきました。なお、今回から大賞を第1～第5部門、第6部門から各1点の選出を予定しましたが、第1～第5部門からは残念ながら該当作品なしとなりました。

また今回も、コロナ禍が収束せず多くの活動が縮小、中止を余儀なくされる中、出品者はもとより、後援、協力、協賛をいただいた多くの企業・団体・個人のみなさまのご理解とご協力のおかげで、ここに「京都デザイン賞2022」の入賞・入選作品をご紹介させていただけますことを、あらためて感謝申し上げます。

私たちは今後とも「京都デザイン賞」で選出した優秀な作品を、「京都発21世紀の大きな波」となることを願い、日本、世界へ向け発信していく所存ですので、より一層のお力添えをお願い申し上げます。

2022年11月

主催者代表 公益社団法人 京都デザイン協会

理事長 奈良 磐雄

## 開催趣旨

京都には1200年の歴史が培った魅力的なデザインが多数存在しています。それらは現代においても引用され、新たな作品や商品開発に繋がっています。京都デザイン賞2022では、京都の伝統と文化を守りながら、新たなデザイン手法を用いて、新しい京都のデザインの創出を図る作品を募集しました。

## 審査基準

- ◆ 斬新な京都のイメージを創出している。
- ◆ 独創性がある。
- ◆ 使いやすい配慮がなされている。
- ◆ 新素材、技術に挑戦している。
- ◆ 環境への配慮がなされている。

※全てに当てはまらなくても可

## 審査講評

### 新井 清一

(建築家／ARAI ARCHITECTS代表取締役／京都精華大学名誉教授)

本年度の京都デザイン賞の第6部門である建築関連デザインでは、例年建築という領域が広範囲に及ぶがゆえ、本年度は建築デザイン／インテリアデザイン／造園及び環境デザインと分けられた。しかしながら私見ではあるが、審査の過程の中でやはりこれらを単独の尺度で評価するのは、やや整合性の観点から難があるなと感じられた。なぜなら建築の根源的な存在は、広い視野においては都市形成や、景観の一部であり、更にそれらの接点であるファサードと内部空間である中庭ランドスケープ・インテリア等は、連続する中間領域の一部であり、相関的に評価されなければならないからである。応募された作品はこれらの点において、どれもレベルが高い印象を受けた。この部門の作品は、現物のサイズとしての展示はそのスケール故出来ない。よって今回は、図面審査、予備審査、本審査、により行なわれた。

大賞の「JR西日本不動産開発ヤサカビル」は、前述都市景観との接点である重くなりがちなファサードの存在を、ガラスの屏風というエレメントをランダムに配し、周辺の空間、空の色合いをグラデーションという手法を伴い、曖昧性空間を創生している。また奥行き深いロビー空間は光庭としても機能し、空間に和みを与えている。

知事賞「チャプター京都」は特に客室インテリア空間に、おもてなしのデザインを施した邸と呼称がつけられるにふさわしい雰囲気醸し出している。

京都商工会議所会頭賞「ザ ロイヤルパークホテル アイコニック京都」この作品においての特徴は、街に接する客室であろう。新旧の象徴、白と黒のコントラストと共にイメージに大きく貢献しているのは60cm厚の耐震壁、及びボイドスラブにより外壁部の梁尾全て無くした効力による開いた空間である。

「プリンス スマート イン 京都三条」は何と言っても、旧市街の新しい風景を念頭に思慮深く、かつ仔細に組み上げられたコンテキストをもとに組み上げられている。

「いろいろ土間の家」は土間という半屋外／半屋内の中間領域、の創成、更に芝生の庭と家庭菜園をつなぐ素直な構成でありながら、多様なコミュニ

ケーションを作り得るいりと薪が美山住む、と重なり合うキーワード。

「枯山水」は、量はどれほどあるのか判明しないが、食べる過程を楽しみたい。

## 滝口 洋子

(ファッションデザイナー／京都市立芸術大学教授)

今年度から第6部門の建築関連デザインの審査方法が変わり、審査員も増えて賑やかな審査となりました。また各部門で学生の新鮮な作品が多く見られたように思います。

ファッション・テキスタイル部門の参加がなかったことは残念でしたがこれは次年度に期待をすとして、今年は以下の作品が印象に残りました。

「京の花 ブローチ」 ケースにたくさん並んだ着物地のゆるくまるいブローチは一つ一つが違っていて同じものはありません。不揃いなかたちの手作りのクッションにピンテージのビーズやメタル刺繍が煌めき、暖かさとともにいつまでも見飽きない魅力があります。昨年受賞されたきもの地サシェに続いての受賞で、今回は年齢や性別を問わず誰でもお気に入りのブローチを選ぶことができそうです。

「HIGHLIGHT」はカラフルな房とナチュラルな木の珠でできた若者用のお守り珠数です。それぞれの思いを込めて身につけ、握る所作が目に見えびます。

「SOOの年賀状 おふき」は京友禅のスモホ拭きの柄をみせて年賀状として送る楽しいアイデアでした。

これらは京都の伝統産業の技術を大切にしながら新しい時代に向けた提案だといえます。審査では上記のような作品と同時に大規模な建築の作品も同じテーブルで検討を重ねます。難しい作業ですが、比べるというよりさまざまな専門家の意見を聞いてその作品のもつ意味、社会への影響などいろいろな方面から話し合います。

受賞作品展の時にみなさまもぜひ京都というテーマを意識して全体の作品をご覧くださいだと思います。

## 中島 信也

(株式会社東北新社エグゼクティブ・クリエイティブ・ディレクター／CMディレクター／武蔵野美術大学客員教授)

デザインはコミュニケーションやと思います。もちろん機能価値を高めるという大切な役割があるのは確かです。機能価値を高めるためのデザインも存在してます。でもデザインはそれ自体で見る人間人触る人使う人の心を動かす力を持ちます。機能の優秀さによって動かされる心もありますが、その「表現」によって人の心は大きく動かされます。観光客の皆様も「心が動く」という期待を胸に京都を訪れるんやと思います。今年の大賞「ヤサカビル」。窓を屏風に見立ようとする意欲的「表現」。これは心を動かし、街行く人とビルとの間でなんらかのコミュニケーションが生まれるのではないのでしょうか。名利ではない新しい京都とのコミュニケーション。新しい京都の魅力を創出する作品として高く評価したいと思います。今年、建築以外の部門の大賞を選べなかったのは残念ですが「京都新聞賞」に選ばせていただいたグラフィック「京都でいきてるよ」はとにかく大好きです。これが「丹波で生きてるよ」ではなくて「京都」やからこそ新しいんです。とっても心を惹かれます。「ヤサカビル」とはだいぶスケールが違いますが、動かす心は人の心、一緒です。ここに描かれている「ワタシ」。京都デザイン賞の歴史の中で、ここまでパーソナルな心を表現したものはなかったと思います。このパーソナル性が作る人と見る人の間に素敵なコミュニケーションが生んでいます。今後、この賞を考えていく上で、この作品は一つのヒントになるとちやうかな、と思いました。

## 村田 智明

(株式会社ハーズ実験デザイン研究所 代表取締役／大阪公立大学 研究推進機構21世紀科学研究センター イノベーション教育研究所 客員教授／九州大学非常勤講師)

京都市長賞のMEGURUは一風変わった台形の朱印帳だが、ここに思いつかないようなトリックが組み込まれている。1ページごとの形が台形で折り畳みを繰り返すと1周の円形になるという構造で、ページをめくっていくと元の所に戻ってくる。数珠や摩尼車を回して祈るような朱印の足跡は本来の朱印帳の意味を成すのではないだろうか。

京とうふ藤野賞の柄豆腐は、家紋のような和柄を題材に繊細な型枠で離型された豆腐。お皿に盛りつけられた白い豆腐は凹凸の印影だけで文様が浮かび上がる。食卓をいつもと違う感動で彩るアイデアだと思う。

入選のSOOの年賀状～おふきは、高台寺のあまびえの絵を題材にした眼鏡拭きが祈祷されて送られてくる年賀状。古を偲ぶところと現代的な実用感覚がミックスしていて、そこに意外性と驚きがある。

入選のDICE～賽の目は、立方体の対角にシャフトを通し電球を囲むように配置されたスタンド照明で、逆光で陰となるDICEとテーブルや床に移る影、立方体が生む陰影が上手く計算されている。

入選のSTAND WEIGHTは、アルミ鋳造でできたデスクトップスタンドで、眼鏡やペン、アクセサリなど置き場に困る身の回りのグッズをアイコンに収めてくれる。

入選の都鶴は、鶴の羽根が折り重なる様を半透明の紙の重なりでうまく表現している。この表現だけで十分美しいので赤のライン、リボン無しで勝負できる作品だ。

## 八木 義博

(株式会社電通zero エグゼクティブ・クリエイティブディレクター／アートディレクター／京都芸術大学 客員教授)

初めて京都デザイン賞の審査に参加させていただいたのですが、京都というテーマで平面から立体、映像から建築・インテリアと多岐に集まってくところが面白いと感じました。自分とは違うジャンル出自の審査員の方々のご意見に何度もハッとさせられましたし、入選された作品たちはそのさまざまな視点をくぐり抜けた優秀作品ということになると思います。

大賞に輝いた建築作品のガラスの屏風というアイデアは、コストや納期、素材の耐久性や法律などたくさんの制約の中、なんとかしてビジネスの中に「京都らしさ」をオリジナルに表現しようという意志を強く感じました。パッケージやグラフィック関連のカテゴリでは学生作品の自由で伸びやかな発想が目立っていましたし、表現したいという気持ちが伝わってきて心地よかったです。

全体的にステレオタイプな京都。というイメージに囚われている印象もあったことから、「京都」をもう一度観察し直し、その捉え方を独自のものにすることが必要なのかもしれません。自由な発想が求められるのですが、自ら設定するコンセプトをひとつのルールや制約にすることで、逆に表現や定着は作りやすくなる。それが他者との差別化につながっていくのかとも思います。次年度へ向けて、審査員団の意表を突く作品に期待したいと思います。

## JR西日本不動産開発ヤサカビル

株式会社竹中工務店

齊藤 康男・有田 博・永井 務・片瀬 利行・黒藪 雄貴・黒柳 亮

京都市街地に建つホテル・物販店舗の複合施設である。奥深い敷地の特性を生かし、来訪者を奥の間へいざない、おもてなしする京町家のような空間とした。外観はまちを特別な風景として見立て、ゲストを迎える「ガラスの屏風」をイメージした。まちの風景や人々の活動を映し、時の移り変わりにより多様な表情をつくることで、当計画地にて行われる祇園祭の宵山「屏風祭」や目の前に建つ「四条傘鉾」と協奏する新たな風景をつくることを意図した。ホテル客室では、大きな眺望と開放的でゆとりのある空間を実現し、祇園祭の

山鉾巡行などまちのにぎわいをダイレクトに感じることができる。緑・水・光に包まれた奥行の深いロビー空間では、京町家のもつ土間や坪庭の要素を配置することで「庭屋一如」を実現し、心地よい奥性を体感できる建築を目指した。

〒541-0053 大阪市中央区本町4-1-13

TEL : 06-6252-1201 FAX : 06-6271-0398

URL : <https://www.takenaka.co.jp/>



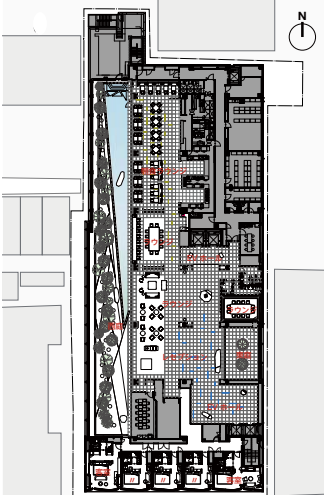
行客のようにまちの新しいナイトスケープをつくる夜の「ガラスの屏風」



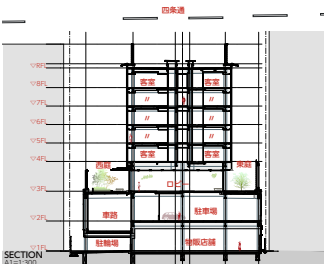
まちの風景を映す「ガラスの屏風」のファサード

### JR 西日本不動産開発ヤサカビル まちを特別な風景に見立てる「ガラスの屏風」

京都市街地に建つホテル・物販店舗の複合施設である。  
奥深い敷地の特性を生かし、来訪者を奥の間へいざない、おもてなしする京町家のような空間とした。  
外観はまちを特別な風景として見立て、ゲストを迎える「ガラスの屏風」をイメージした。  
まちの風景や人々の活動を映し、時の移り変わりにより多様な表情をつくることで、当計画地にて行われる  
祇園祭の宵山「屏風祭」や目の前に建つ「四条傘鉾」と協奏する新たな風景をつくることを意図した。  
ホテル客室では、大きな眺望と開放的でゆとりのある空間を実現し、祇園祭の山鉾巡行などまちのにぎわいを  
ダイレクトに感じることができる。  
緑・水・光に包まれた奥行の深いロビー空間では、京町家のもつ土間や坪庭の要素を配置することで  
「庭屋一如」を実現し、心地よい奥性を体感できる建築を目指した。



SITE & 3F PLAN  
A1-1-201



SECTION  
A1-1-201



庭屋一如を実現し、奥へいざなうラウンジ空間



2つの庭と連続するロビー



まちとダイレクトにつながる大きな眺望と開放的でゆとりのある客室空間



「ガラスの屏風」のファサードと「四条傘鉾」が協奏する祇園祭のまちの風景





## CHAPTER 京都トリビュートポートフォリオホテル 客室

株式会社日建スペースデザイン

戸井 賢一郎・山本 祥寛・菅野 晃央・石井 雄太

<インテリアデザイン> 日本の茶道における言葉、一人の主人が一人の客人に対して心を込めてもてなすという意味の「一客一亭」の精神をデザインに採り込んだ造語「一客一邸」をコンセプトとした。茶室を構成する格子や畳、襖といった空間要素、掛け軸や茶道具などの調度品を現代的に解釈して再構成したインテリアデザインは、凛とした空気感を生み出しつつゲストへ心地の良い特別な体験を届ける。

<映像> 「一客一邸」という客室のコンセプトを映像表現するにあたり、一人のゲストが客室“邸”を訪れるストーリーとした。自然光が生み出す繊細な光と影、和を感じる素材感、照明が醸し出す京都の華やかさの表現にこだわり、襖や履物、お湯の音など実際の環境音を挿入することで「一客一邸」の豊かな宿泊体験の表現を目指した。昼、夕、夜、朝と刻々と移り変わる光環境に呼応して、素材感の織り成す様々な表情でおもてなしをする客室“邸”の映像表現を試みた。

〒112-0004 東京都文京区後楽1-4-27 日建設計後楽園ビル

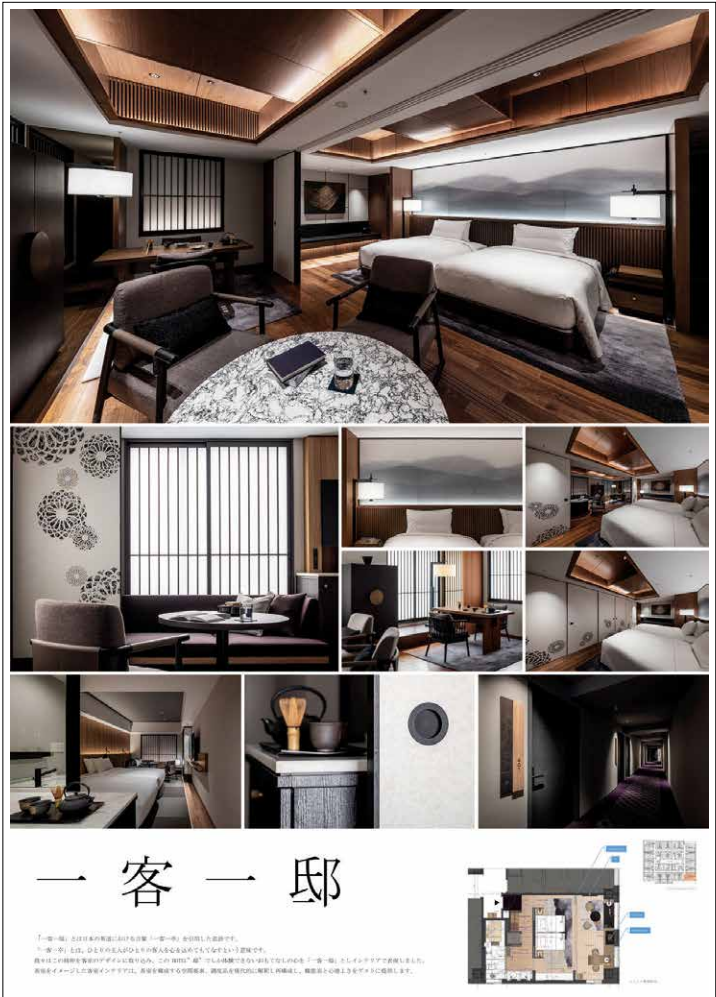
TEL : 03-5689-3264 FAX : 03-5689-3265

URL : <https://nspacedesign.co.jp/>

E-mail : [webmaster\\_sd@nikken.jp](mailto:webmaster_sd@nikken.jp)



<https://youtu.be/nmx13GsJIH4>



## MEGURU

迫 健太郎

ページを広げると、直径約1.5メートルの大きな輪になる「台形の御朱印帳」です。各地をめぐり、すべてのページが御朱印で埋まった晩には、ひとつの輪に広げ、それまでの旅路を振り返ってみませんか。御朱印を集めるだけでなく、「振り返る」ところまで楽しめる、新しい御朱印帳のカタチです。



URL : <https://sakoken.tumblr.com>

E-mail : [sako.kentaro@gmail.com](mailto:sako.kentaro@gmail.com)





京都商工会議所会頭賞

<第6部門>

## ザ ロイヤルパークホテル アイコニック京都

株式会社竹中工務店 梅田 善愛・谷地 建児・市川 徹  
UDS株式会社 小林 綾子・伊藤 啓人  
株式会社ヨシモトアソシエーツ 吉本 大史

京都 御池通に面して建つ、「住まうように滞在する」ことのできる全125室のsmallラグジュアリーホテル。市街地でありながらも開放的な立地環境を活かし、客室と街が繋がりまるで京都の街に包まれているかのような滞在体験を提供している。建物中央を貫く筒型耐震壁とフラットスラブの採用により、客室を明るく開放的な空間とし、1階では筒型耐震壁で囲われた中央部分に2層吹抜のバーラウンジを設けることで、対照的な空間を生み出した。

株式会社 竹中工務店

〒541-0053 大阪市中央区本町4-1-13

TEL：06-6252-1201 FAX：06-6263-9730

URL：https://www.takenaka.co.jp



京都新聞賞

<第1部門>

## 京都でいきてるよ

野々口 明香(嵯峨美術短期大学)

京都でいきるいきものを描きました。有名なオオサンショウウオをはじめ、個人的によく見かける生き物をチョイスしました。また自分も含むことで共存しているということを意識できるようにしました。





## 繭

## 鬼塚 愛実(帝塚山大学)

訪日外国人に向けたパッケージデザインとして制作しました。繭をイメージして和紙を何重にも重ねて表現しています。自然とともに生活してきた日本の文化に思いを馳せていただければという気持ちを込めました。白と赤の2色の水引は日本国旗の日の丸のイメージです。宝箱を開けるように紐をといていただくために、ボトルを寝かせたカタチにしました。



## 柄豆腐

## 宮本 琴葉(嵯峨美術短期大学)

京とうふ藤野「柄豆腐」は「少しの工夫で食卓を華やかに」をコンセプトに発案しました。厚みのある円形の豆腐には和柄が飾り切り抜かれています。冷奴としてそのまま食べるもよし、湯豆腐やお鍋の具材にしてもお洒落。真空パックの上から包まれた優しい肌触りの布は、豆腐の製造で使われる布袋に見立てています。豆腐の柄が正面から見えるようになっているので、好みのものを選び購入できます。

**柄豆腐**  
が ら と う ふ



食卓を華やかに彩る柄豆腐。  
食卓をちょっとお洒落にしてみませんか？



円形の豆腐に和柄が飾り切られた「柄豆腐」は、食卓に並べた時、華やかに、ワクワクを与えてくれます。



真空パックに優しい肌触りの布で包まれたパッケージ。正面から柄が見えるようになっています。

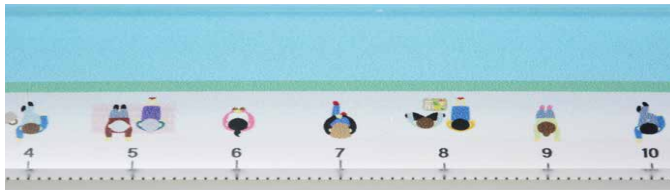




## KAMOGAWA RULER

迫 健太郎・くわざき ななみ

京都の風物詩のひとつ。不思議と等間隔に並んで、鴨川に座る人々。鴨川で語らう人々を眺めていると、何だか定規の目盛りに見えてきました。あなたのデスクに、小さな鴨川を流してみませんか。

URL : [迫 健太郎] <https://sakoken.tumblr.com>【くわざき ななみ】<https://kuwanana.com>

E-mail : sako.kentaro@gmail.com



## KAMOGAWA RULER

京都の風物詩のひとつ。不思議と等間隔に並んで、鴨川に座る人々。鴨川で語らう人々を眺めていると、何だか定規の目盛りに見えてきました。あなたのデスクに、小さな鴨川を流してみませんか。



実寸サイズ (15cm 定規)

素材 : アクリル  
サイズ : 150mm × 25 mm

## 京の花 ブローチ

いととかたち  
中嶋 優子

京都に来る人、住む人が 京都に流れる「ゆるり。ゆったり。」とした時を 日常生活のなかでふと、感じていただけたらという思いで 作った布小物「京の花 ブローチ」です。

①「京の花 ブローチ」は、同じものを沢山作るのではなく、ひとつひとつが ちがうもの。一点ものです。

② ひとつひとつがきちんとしたまる(○)でない、制作するなかで自然に生まれた 上下左右非対称の形にすることで、「おなじでなくていい。ひとりひとり違っていい。」というこれからの時代に求められる多様性への応援メッセージも込めています。

③ ピンテージガラスビーズを縫いつけることで、着物地の光沢感とあいまって、よりキラキラとした美しさが増し、ブローチとして胸元を飾るのに良いのではないかと思います。

④ 制作工程についても、完成までをすべて一人で制作するので、時間がかかります。

スピード感とはまたことなる視点でのものづくりの提案もしています。

⑤ 「京の花 ブローチ」と名付けることで、ブローチをつける人に京都を感じてもらいたいという思いも込めています。つくり方やかたち、そしてブローチそのものから、京都に流れる「ゆるり。ゆったり。」とした時を感じていただけましたら幸いです。

URL : <https://yukkuristore.thebase.in>

E-mail : irotokatachimade@gmail.com

京  
の  
花ゆるり  
ゆったり  
ブローチ

## いろいろ土間の家 一人・光・風の交差する生活景一

近藤 誠之介(京都工芸繊維大学)

自然豊かな美山町に移住した4人家族のための住宅の計画。交流の中心として、土足で出入りする「いろいろ土間」ホールを設ける。家族の生活を彩る様々なアクティビティがホールで結び付く。採光窓や夏季の通風システム・冬季の薪ストーブ利用の蓄熱システムもホールを中心に展開し、この場所の豊かな環境を享受できる住宅とする。夏季は小屋裏を通した北東卓越風の取得によって土間ホールまで風を引き込み冷却する。最高気温が30℃を越えることの少ない地域であり、自然の通風があると十分快適に過ごせる。冬季は薪ストーブを利用する。薪ストーブは土間ホールの一角に設置されるが、ロフト階まで貫通する背後の壁を熱容量の大きいレンガ壁とすることで蓄熱性能を高める。冬季積雪量の多い地域の民家「曲り屋」に倣い、屋根形は2つの切妻屋根を重ねるシンプルな構造として形をまとめる。



## 入選

## サバーずし

池田 真子(嵯峨美術短期大学専攻科)

昔からさまざまな行事で親しまれてきた鯖寿司。京都の食文化をもっと身近に感じてもらうために提案しました。「SABAR SUSHI（サバーずし）」の名前のとおり「BAR」をイメージし、お酒のおともとして楽しんでもらえるようにという意図で制作しました。





## KYOTO MATSURI (GOSAN NO OKURIBI)

奴賀 捺聖(嵯峨美術短期大学専攻科)

KYOTO MATSURI は京都の代表的な行事のひとつ「五山送り火」をグラフィック的な視点から新鮮さや視認性を高めたポスターです。雅でモダンなら京都らしさを感じる配色や、祭の雰囲気損なわず、かつ新しさを求めたグラフィックスをぜひ目で見て楽しんでいただければ幸いです。



## SOOの年賀状

SOO

「SOOの年賀状」は一年の初めに京都から京都ならではの年賀状を送ってほしいと思い作りました。切手を貼り定形郵便でそのまま送れるパッケージに京友禅手染め絹のスマホ拭きを封入し、お客様に届ける仕組みも一から作りました。着物用の正絹の生地の中からスマホを拭くのに適した素材を選び、図案家が描いた草稿を元に型を彫り、型友禅の技法で京友禅の職人が手染めしたものをスマホ拭きに適した大きさに一枚ずつ手でカットし、たとう紙素材のパッケージに入れた製品です。京都の伝統工芸品である京友禅が日本中に届くよう、日本のお正月の風物詩である年賀状の振興に繋がるよう想いを込めた年賀状です。今後も毎年、デザインやご祈禱頂く寺社仏閣は想いや願いによって変わりますが、会えなくても離れていても気持ちを通じ合わせてもらえるように、SNSが普及し年末年始の挨拶もデジタル化していく中で、大切なあの人に送りたい。そんな特別な年賀状です。

販売価格(税別)：800円

商品販売店舗：京都市内の郵便局、セブンイレブン

〒602-0956 京都市上京区元誓願寺通東堀川東入西町454

株式会社日根野勝治郎商店内

TEL：075-417-0131 TEL：075-417-0132

URL：https://soo.kyoto/

E-mail：soo.kyoto.soo@gmail.com



## 賽の目

M 3 lighting Kyoto  
山本 基揮・三野 徹男・辻野 功

小さな木の立方体を対角線上に積み重ねることで、和柄の「賽の目」を立体的に表現した灯りです。「賽の目」からこもれ出る光と影は花となり、日々の生活に彩りを添えてくれます。灯りは照度を得るためだけの道具ではなく、生活に安らぎと華やぎをあたえてくれるものであってほしい。

2015年に京都・花灯路創作行灯コンペにて最優秀賞をとった作品を商品化しました。

販売予定価格(税別)：スタンドライト：88,000円  
フロアライト：98,000円



DICE  賽の目

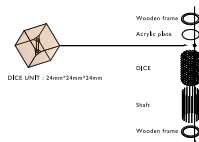
Lighting fixtures made of wood in Kyoto

京都の木材で灯りをつくる

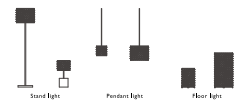
小さな木の立方体を対角線上に積み重ねることで、和柄の「賽の目」を立体的に表現した灯りです。

「賽の目」からこもれ出る光と影は花となり、日々の生活に彩りを添えてくれます。

灯りは照度を得るためだけの道具ではなく、生活に安らぎと華やぎをあたえてくれるものであってほしい。



檜 櫟 桐



シンプルかつユニークな仕組みのデザイン

エコロジカルな方法で国産木材を使用する

多様な商品開発の可能性

「賽の目」はシンプルな構造とデザインにアクセスという仕組みのデザインです。直径と高さを用途に合わせて設定することで、ホテル、レストランなどの商業施設から個人屋にいたるまで、多様なニーズにあわせ、様々な大きさ・種類の灯りをセレクトオーダーで制作することが可能です。

「箸の目」は小さな立方体の彫刻であり、材の大きさによらず木材を活用できるため、環境にやさしく、食卓での樹木を活用することで、森林経営に貢献されるCO2の削減にも努めます。ビノキ、ゲヤキ、スズといった日本人の生活とともにある樹種の育り、育成を大切にします。

商品化したサイズのフロアライト、スタンドライトに限らず、フロアライト、ペンダントライト、スタンドライトといった形式や、サイズ、フレーム、材質を変えることができるため、今後のシソーズ化を念め、多様な商品展開の可能性がります。

M 3 lighting Kyoto  
E-mail : [info@moyarchitects.com](mailto:info@moyarchitects.com)

## HIGHLIGHT

亀井珠数店／株式会社フルーツドロップス  
今井 浩之・高橋 真一郎・千脇 知子

創業300年を迎えた亀井珠数店が、FRUITDROPSとのコラボレーションにより起ち上げたセカンドライン、「次代のJUZUを提案する『JUZU+®』」からの第1弾商品。業界初の房を蛍光染料で染めたジェンダーフリーな京念珠®『HIGHLIGHT (ハイライト)』。日本では仏前の弔事だけでなく、お願い事をする際に合掌する習慣があります。珠数は想いを伝えるツールです。お客様でも神様へのお願いでも、合わせる手には珠数をかけてほしい。また、初めて珠数を手にする若年層の“ファースト珠数”となるよう、かわいくPOPな“神仏習合の珠数”として『HIGHLIGHT』はデザインされました。恋愛に憧れる友人や受験生のご子息さま、治療中のクラブ仲間などへの“お守り”としても最適です。恋愛成就（ピンク×イエロー）、大願成就（ブルー×オレンジ）、病傷平癒（グリーン×ブルー）、合格祈願（イエロー×グリーン）の4種類をご用意しています。

販売価格(税別)：5,000円  
商品販売店舗：JUZU+®公式オンラインショップ、Pinkoi

亀井珠数店／株式会社フルーツドロップス  
URL : <https://juzu-plus.shop-pro.jp>



## STAND WEIGHT

株式会社尚雅堂 松尾 安浩  
FUKUSADA STUDIO株式会社 福定 良佑

スタンドウエイトは、デスクトップでの使用に最適な、様々な機能を有したプロダクトです。ベース部分はアルミの鋳物でできており、石庭からインスピレーションを得た柔らかな波紋形状が素材の魅力を際立たせています。ベース中央部とアルミ円筒部内側にはネジ加工がされており、円筒をベース部分に接合することで本体が完成します。全体にはブラスト加工を施し手触りの良い質感となっています。

中央の円筒内側には、万年筆等のペンはもちろん、メガネを差しおくこともできます。円筒外側には、尚雅堂オリジナルのタスクメモやマスキングテープが丁度良く収まる寸法になっています。ベース部分は、クリップ等の小物用トレイとして使用できます。本体重量は300g程度あるので、ペーパーウエイトとしても機能します。

ベースと円筒は切り離す事で小さくパッケージに収まり、ギフトにも最適です。デスクトップを美しく整理してくれる、マルチなスタンドです。

販売価格(税別)：5,200円

商品販売店舗：<https://shop.shogado.co.jp/products/detail/120>

株式会社尚雅堂、FUKUSADA STUDIO 株式会社

E-mail：[info@shogado.co.jp](mailto:info@shogado.co.jp)



## 都鶴

大久保 咲良(嵯峨美術短期大学)

舞妓さんの白粉と紅の和化粧と、鶴の白い羽と頭頂部の紅をかさねあわせて表現。瓶を舞妓さんの顔に見立てたラベルで、伏見の清酒が注がれると、より和化粧に近づく演出をほどこした。美しく結われた髪も、紙の自由度の高さを生かしつつ、少ない枚数で簡単に表現できるようにデザインした。





## 都鶴

清水 みさ(嵯峨美術短期大学)

パッケージは鶴が瓶を抱きしめている様子を表現しています。また、ラベルにも鶴を大きく配置しており、パッケージの鶴がもう一羽の鶴を抱きしめているようになっています。羽根でそっと大切に包み込むように、丁寧に真心を込めてお届けしたい、という思いを込めてデザインしました。



## 暖簾の先の鶴

長田 結良(帝塚山大学)

訪日外国人の方々に日本らしさを感じてもらう為に、日本の文化である暖簾を用いたデザインを考えました。京都の街を歩けば出会える、古くからある商店の出入口をイメージしました。暖簾の下から覗く鶴の足を見て思わずくぐってその先を見てみたくなる様な、わくわくした気持ちで都鶴を飲んでみてほしいという思いを形にしました。



## 京のはなどうふ

鈴木 ことは(嵯峨美術短期大学)

冬といえばなべ。なべの主役になる「はなどうふ」を提案します。つぼみのかたちのなでしこどうふに嵯峨ぎくどうふ。火にかけてフタをして10分。開けた時には満開になる京の花ばなをお楽しみください。



## TOFU PASTE

西村 心汰(嵯峨美術短期大学)

TOFU PASTEは、どろりとしたペースト状の新感覚なお豆腐です。サラダにかけてドレッシングに、黒蜜ときな粉をかけてデザートドリンクに、生地に混ぜて豆腐ハンバーグや豆腐団子にするなど、可能性は無限大！美味しい京とうふを日々の食事と組み合わせでちょこっと贅沢しませんか？



## ぱれっとうふ

水野 遥菜(嵯峨美術短期大学)

京とうふ藤野で販売している充填豆腐は多くの種類があり、薬味や調味料を変えることでより多くの食べ方で楽しむことができます。「ぱれっとうふ」はお家でも自分の好きな食べ方で豆腐を味わうことができる商品です。人気のおぼろ豆腐と出汁醤油の他に、8種類の豆腐の中から2種、8種類の薬味の中から4種選ぶことができます。パッケージはパレットのように仕切りのある赤いパックに白のラベルを巻いたデザインです。ラベルには絵の具をイメージした形の穴が空いており、選んだ豆腐や薬味によってパッケージの色が変わります。パッケージも豆腐も食べ方も、自分だけの世界に一つの「ぱれっとうふ」をつくりましょう。



## 水引とうふ

八束 奈々恵(嵯峨美術短期大学専攻科)

思いを結んだ超立体とうふ「水引とうふ」は水引をモチーフとして、とうふを立体型に成型した、贈り物にぴったりなご縁が繋がるおとうふです。水引部の豆腐はこんにゃくを練りこむことで様々な形へ成型を可能にしています。和紙と水引で結ばれたパッケージを開封すると、とうふの上にも水引が乗っており、人と人を結ぶ気持ちを食後まで感じられます。

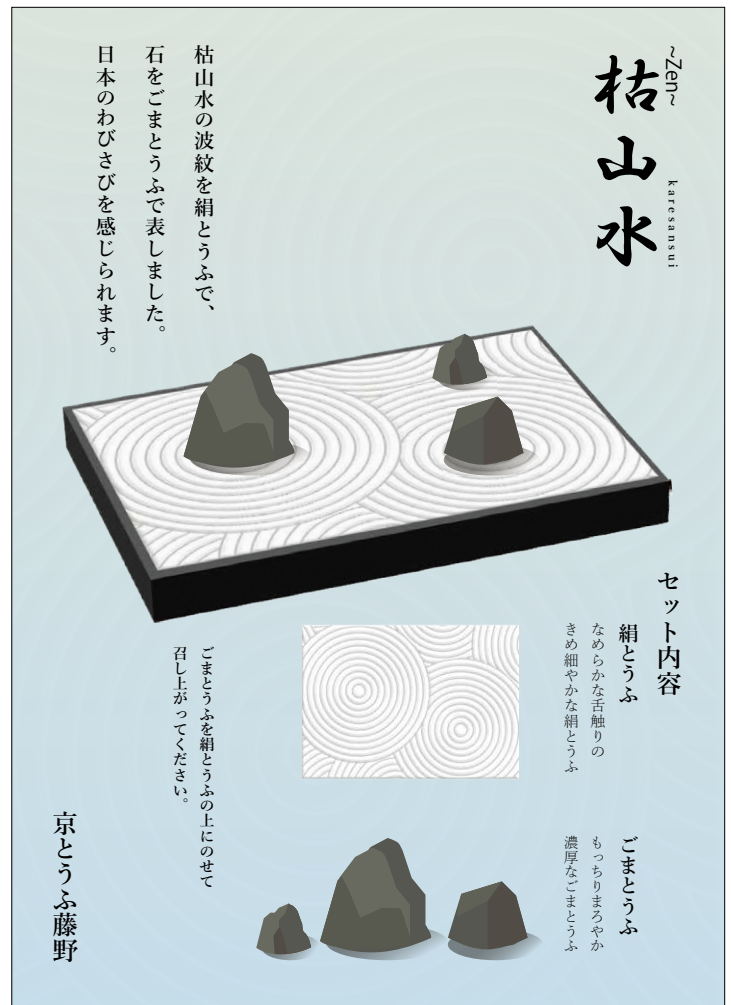




## 枯山水

富家 李々果(帝塚山大学)

禅宗の日本の庭園である枯山水をモチーフにしました。枯山水をいつでもどこでも眺めて、ゆったりと味わっていただきたいという思いをこめて、この作品を作りました。波紋の広がりや、絹とうふの滑らかな口どけから連想しました。岩は黒ごまのおとうふで見立てました。自分自身で枯山水を作りあげることができます。舌触りの良い絹とうふのきめ細やかさと、口に入れた瞬間に広がる濃厚なごまとうふのもっちりとしたまろやかさを堪能していただきたいです。



## 朱印歩場結

千田 葵(専門学校アートカレッジ神戸)

「朱印歩場結」は、アルバムから着想を得た御朱印帳です。御朱印は参拝の証。後に御朱印帳を開く時、より鮮明に参拝やその日の事も思い起こされる、そんな御朱印帳を考えました。半透明の奉書紙を用いることで、二枚目が透け奥に入れた写真と一緒に見ることができます。使いやすいように御朱印帳と写真、ポストカードの一般的なサイズとしています。御朱印帳をとめる紐は、願いごとが叶うようにという意味が込められた、縁起のいい叶結びとし、「朱印歩場結」の文字も、一つ一つに意味を込めて選びました。

販売価格(税別)：2,400円



## みみ おまもり

三浦 咲季(嵯峨美術短期大学専攻科)

お守りに使用されている「二重葉結び」。マスク生活でヘトヘトの、あなたの“こころ”と“みみ”をまもります。  
「みみおまもり」は京都のちりめんと組紐を使用した、マスクによる摩擦から耳を守る商品です。2種類の形状と、「恋愛運」「仕事運」「金運」など効果ごとにバリエーションがあり、自分にピッタリの「みみおまもり」がきっと見つかります。



## プリンス スマート イン 京都三条

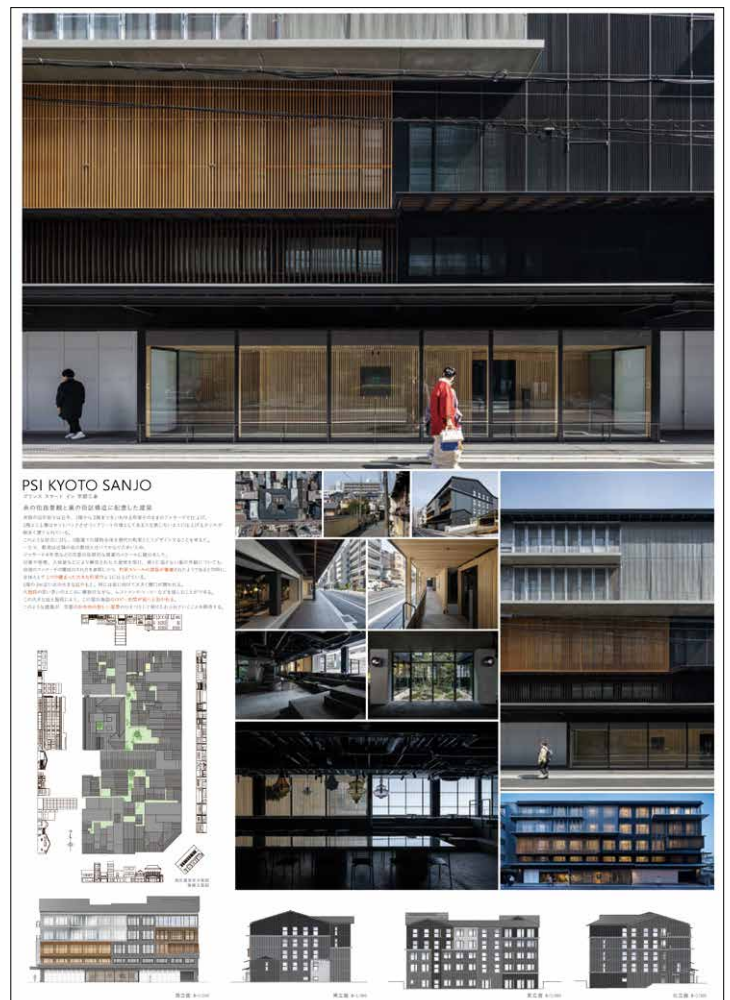
KRD丸屋町開発特定目的会社／関電不動産開発株式会社／株式会社西武・プリンスホテルズワールドワイド／株式会社魚谷繁礼建築研究所／株式会社東洋設計事務所／株式会社GARDE／東急建設株式会社／荻野寿也景観設計

「表の街路景観と裏の街区構造に配慮した建築」京都の旧市街では近年、1階から2階までをいわゆる町家そのまのファサードで仕上げ、3階より上層はセットバックさせコンクリートの塊としてあまり主張しないように仕上げるホテルが数多く建てられている。このような状況に対し、5階建ての建物全体を現代の町家としてデザインすることを考えた。一方で、敷地は近隣の他の敷地と比べてかなり大きいため、ファサードを町家などの京都の伝統的な建築のスケールに細分化した。切妻や寄棟、入母屋などにより構成された大屋根を架け、通りに面さない面の外観についても、地域のファサードの構成のされ方を参照しつつ、町家スケールの建築が積層されたようであると同時に、全体として1つの纏まった大きな町家のように仕上げている。1階の2m近い出の大きな庇のもと、時には街に向けて大きく開口が開かれる。大階段の思い思いのところに腰掛けながら、レストランのコーヒーなどを愉しむことができる。この大きな庇と階段により、この宿泊施設のロビー空間が街へと拓かれる。このような建築が、京都の旧市街の新しい風景のひとつとして受け入れられていくことを期待する。

(施設名称) プリンス スマート イン 京都三条

(施設住所) 〒604-8086 京都市中京区御幸町通三条上る丸屋町 325 番地

(施設URL) <https://www.princehotels.co.jp/psi/sanjo/>





## 二条城外壕公衆トイレ

イワモトエンジニアリング株式会社  
藤原 和正

二条城を囲む外堀の一角に、そこに存在していたかのような佇まいだが、一步踏み込めば、歴史的魅力とモダンが融合した空間が現れる。

外観は白を基調とし、定規筋を模した腰壁を吹き付け塗装とタイルで表現した。グレーと白のコントラストが美しい。目隠し堀前の床面は市松模様の2色の洗い出しで、御影石とみごとに調和している。

内観は天井を黒で統一し、モダンでシックな雰囲気。男・女各トイレは木目を、多目的トイレは白を基調とし、内壁は化粧パネルとアルミ見切りで定規筋を表現している。男・女各トイレの洗面カウンター横には、西陣織のファブリックパネルを飾り、祇園祭の山鉦の装飾にも使用されている西陣織は京都を代表する高級絹織物で、よりラグジュアリー感を引き立てています。小便器前のライニングと壁は、意匠性の高い光触媒陶板を採用。抗菌・防汚・防臭などの効果があり、美しさを持続させることができます。LED照明、節水タイプの便器、小便器・自動水栓は自家発電タイプを使用し、環境に配慮している。

〒603-8113 京都市北区小山西元町47-2  
TEL : 075-492-7771  
URL : <https://www.iwamoto-e.co.jp/>  
E-mail : [office@iwamoto-e.co.jp](mailto:office@iwamoto-e.co.jp)



## 募 集 期 間

2022年6月30日(木)～2022年9月30日(金)

## 応 募 数

71社 71点

## 審 査 結 果

入賞10点 入選18点

## 展 示 公 開

2022年11月4日(金)～6(日) 入賞・入選作品展(くろちくイベントスペース)

## 表 彰 式・講 評 会

2022年11月6日(日) 授賞式・作品講評会・交流会(くろちくイベントスペース)





京都デザイン賞 2022を支えていただいているサポーターに感謝します。

<主催>

公益社団法人 京都デザイン協会

<後援>

京都府  
京都市  
京都市立芸術大学  
京都商工会議所  
(公財) 京都産業21  
京都府中小企業団体中央会  
京都新聞  
NHK京都放送局  
KBS 京都  
エフエム京都

<協力>

文化庁 地域文化創生本部  
(有) 画箋堂  
京とうふ藤野(株)  
京都芸術家国民健康保険組合  
(株) くらちく  
(株) 尚雅堂  
(有) 匠弘堂  
ホルベイン画材(株)  
都鶴酒造(株)

<特別賛助会員>

有限会社中村清草園

<賛助会員>

有限責任事業組合あきたデザインサポート  
(株) エクザム  
(有) 画箋堂  
(株) 京都銀行  
京都信用金庫  
京都中央信用金庫  
京都百貨店協会  
(株) 境田商事  
(株) 尚雅堂  
日本写真印刷コミュニケーションズ(株)  
(株) パルテごとう  
山内紙器(株)

<協賛>

京都芸術大学  
帝塚山大学  
嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学  
京都精華大学  
株式会社 俄  
(株) TAKAYASU  
刀剣 開陽堂  
アーバンホテルシステム(株)  
アルク(株)  
(株) 153  
イワモトエンジニアリング(株)  
(株) 大西建築事務所  
NPO 法人京都西陣町家スタジオ  
(株) くらちく  
小林美工社  
(株) 小林長  
ターナー色彩(株)  
(株) ターレンスジャパン  
(有) ティアック  
中島製版(株)  
(株) 中善広岡工務店  
(株) 中津商店  
(株) 西村工務店  
(株) パルム  
BAL(株) 中澤ホールディングス  
医療法人 奈良会 なら皮ふ科クリニック  
(株) メディアインパクト  
(株) 山添電機  
加地金欄(株)  
まつもとクリニック



**公益社団法人 京都デザイン協会**

〒604-8205 京都市中京区新町通三条下ル三条町349-2

tel 050-3385-8008 fax050-3385-8009

mail : info@design.kyoto

kyoto.design@gmail.com

[www.design.kyoto](http://www.design.kyoto)

